



「自らよりよいくらしをつくる子ども」に育てる

大 沢 野 小 学 校

本校では、明るく元気に生活している子どもがたくさんいます。登校後は、上級生が玄関前で挨拶運動を行い、ワークスペースでは低学年の子どもたちができる技を増やそうと鉄棒運動に取り組んでいます。また、「聴き合い」を通して、仲間の取り組みや思いを理解しながら、ともに前向きな気持ちをもって学校生活をつくろうとしています。

研修では、「自ら学ぼうとする子どもの育成」を目指しています。今年度は、5年生が「大沢野を守る～水害に備えよう～」の学習に取り組みました。地域の方々の災害に対する意識調査をしたり、ハザードマップを見て実際に危険な場所を確認したりするなど、どの子どもも自らの課題解決に向かって、粘り強く取り組んでいました。さらに、地域の方々の意識を高めようと発表会を行いました。そのような活動を通して、子どもたちは「地域のために役立つ自分」や「とことんがんばる自分のよさ」を感じています。

今後も、日々の一時間一時間の授業を充実させ、「自らよりよいくらしをつくる子ども」に育てていきたいと思えます。



<心を一つに活動する子どもたち>



日常的に行う小中連携

山 田 中 学 校

山田中学校は、昭和22年、婦負郡山田村立中学校として創立しました。校章は、創立当時の生徒が応募した図案を基に作ったもので、YAMADAのYに、平和のシンボルである白鳩をデザインしたものです。若き情熱をもち、愛の精神をもって大空に羽ばたき、平和を願うという気持ちが込められています。平成17年の市町村合併で富山市立山田中学校と改称し、平成19年、山田小学校との小・中一体型校舎となりました。木がふんだんに使われた校舎には温かみがあります。また、校舎に併設された富山市立山田図書館は学校の図書館を兼ねています。ランチルームで小学生と毎日一緒に給食を食べるなど、小・中一体型校舎を生かして日常的に小・中連携を行っています。生徒会主催の小・中合同集会、保育所も含めた保・小・中合同運動会、小・中合同避難訓練、スキー・スノーボード教室等の諸行事も連携し、家庭的な雰囲気の中で104人の児童生徒が学んでいます。



<楽しい雰囲気での給食>